

『もっと！！本野通信』 No.141

～修学旅行特集～ 諫早市立本野小学校長 永 井 洋



体験学習4 修学旅行 ～佐賀・福岡方面～

①西九州新幹線かもめ

あっという間の20分。そんな中わずか数秒本野地区が見えました！！新幹線を降りると、そこは佐賀県です。「普通の電車で、武雄温泉駅まで行ったら何時間くらいかかるのですか？」と質問する児童がいました。問いが見つかりましたね。こんな時は、調べることが大切です。しかし、数回乗りましたが、便利な世の中になりました。



②吉野ヶ里遺跡

縄文時代から弥生時代にかけての、集落の様子や人々の生活が再現・展示されています。教科書にも出てくる「邪馬台国」があったかもしれないという候補の一つでもあります。

5年生には、学習前のことで少し難しいこともあったようですが、大きなやぐらや竪穴式住居、土器などに興味津々でした。



③福岡防災センター

火災（煙）体験、消化体験、地震体験、火災VR体験の4つが学習できました。日頃から、災害に向けて備えをすること、実際に遭遇した時の対応など多くのことが学べました。センターの指導員の方から、帰り際に、「これまでで一番学ぶ姿勢が素晴らしい学校でした」とほめていただきました。



④マリンワールド

水生生物の生態を学びました。ここがお土産スポットでしたので、少し時間が足りない感じもありました。しかし、イルカとアシカのショーは、正面最前列に座って間近で観察することもできました。ウォーター・スプラッシュの洗礼を受けた子もいました。



⑤太宰府天満宮・九州国立博物館

本殿が立て替わりきらびやかな神社に参拝できました。博物館は、少し難しかったようですが、昔の道具や、街並み、人々の生活について展示物から学びました。なんと、参拝した時刻に、わたしと同年代の超人気俳優（今もでしょうが、昔はトップアイドル）が、参拝されていたようです。



さて、事前にも学校だよりに書いておりましたが、修学旅行は学習ですので、私が話した「めあて」（何を学ぶか）がありました。下の5つです。

- ①楽しく、心に残る「修学旅行」にする。
- ②ルールやマナーを守る。
- ③見学地では、教科書で学べないことを3つ以上学ぶ。
- ④「時を守り、場を整え、礼を尽くす」
- ⑤感謝の心を忘れない。

是非ご家庭でも、「どのくらい学びが深まった？楽しかったことは？」などお子さんと話してみてください。わたしは、参加した児童、教職員全員が、無事に帰校したことが一番でした。ご家庭での修学旅行に向けた心構え、準備等、ありがとうございました。